

令和元年度 自然活動推進事業 活動報告書

1.団体名 社会福祉法人みどり会 みどりの森保育園

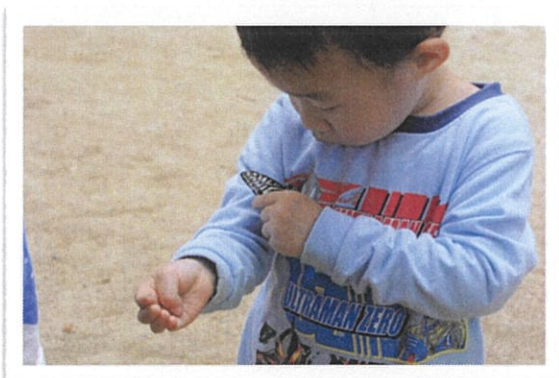
2.活動概要

(1)自ら意欲的に活動し、生きる力を育む環境づくり。

(2)あそびの事例

○園庭の花にとまった虫を見つけ、自ら触れています。

友だちも興味津々、じっと見守っています。(2歳児)



「ふくにくっついた～」

「ちょうのふくじゃ。」

みどり豊かな園庭には、様々な虫たちがやってきます。子どもたちは興味を持つと、すぐに絵本で探したり、大人に聞いたり、一緒に調べたり、新しいことをどんどん知っていきます。

○雨の日はカッパを着てあそびます。雨が体に当たる音や雨の日の土の感触を全身で楽しみます。



いつもと違う園庭の感触にワクワク、夢中で遊びこんでいます。

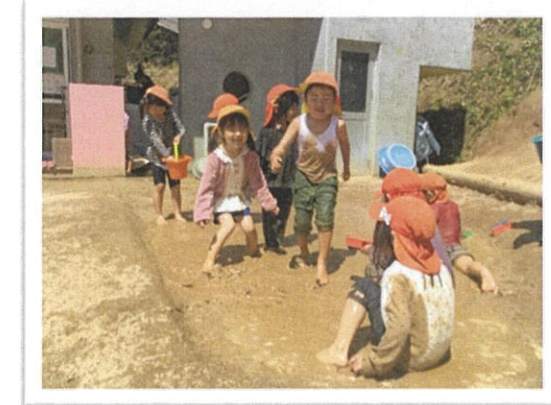
○散歩先では自然物であそびます。



様々な植物を並べて違いに気づいたり、何かに見立てたり、自然の中で子どもたちの想像力が膨らみます。

豊かなイメージを持ち、自分で想像する力を育むことを大切にしています。

○砂場が川から海になりました。船で大航海の始まりです。たらいが浮くことにも気づきました。最後はみんなで海に飛び込み泥んこ。土の匂い、感触を全身で楽しみました。



○どろんこあそび、大人も子どもも一緒に楽しめます。信頼できる大人と一緒に楽しむことで、どんどん大胆になってきます。



○自分たちで育てたい野菜を決め、地域の生花店に買い物行きました。野菜を育て成長を見守り、収穫し食べることで丈夫な心と体を育みます。



それぞれの野菜の札を作り、みんなで苗を植えました。  
「はやくおおきくなあれ」



収穫後は、目の前で切ってもらい野菜の匂いや特性を知ることができました。



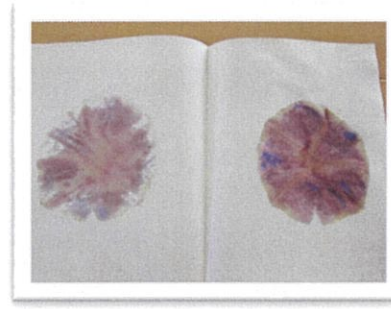
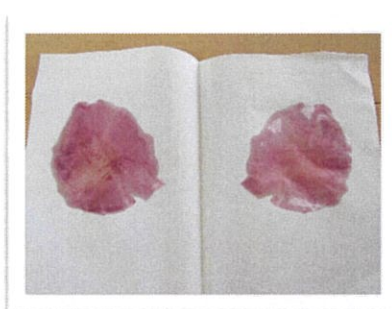
○園庭で育てたあさがおで、たたき染めをしました。半紙に出てきた色を見て、驚きと不思議、自然にしかない色に感動しました。



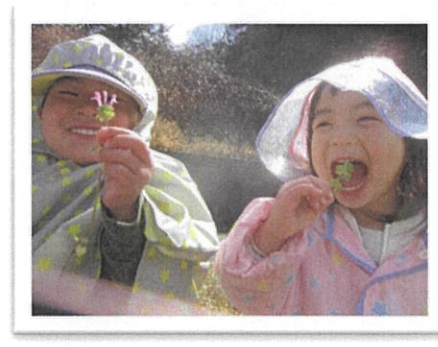
←「あさがおきれいじゃね〜」  
「ほんとにいろがでるんかね」→

「みてみて、あさがおじゃ」  
「きれいじゃね」

↓



○雨の日さんぽ。雨が降ると子どもたちから「カッパ持って来とるよ〜」「カッパ着て出よう」と伝えてくれます。「今度雨が降ったら、カッパを着てお散歩行きたい。」と子どもたちからの提案でした。雨の音を感じ、雨のしずくを浴びた植物に雨上がりの空の美しさに感動をしました。



○みどりの森保育園では、子どもたちが自ら生き生きと活動することを通じ、生きる力を育てていくことを大切にしています。これからも自然にふれ、様々なことを学び、感じる力を育てていきたいと思います。そして、自然に感謝する心を大人も子どもも忘れずに共に過ごしていきます。